



# 第一次世界大戦と 日本の中国進出

150781025 柴田尚暁

指導教授 稲葉千晴



# 目次

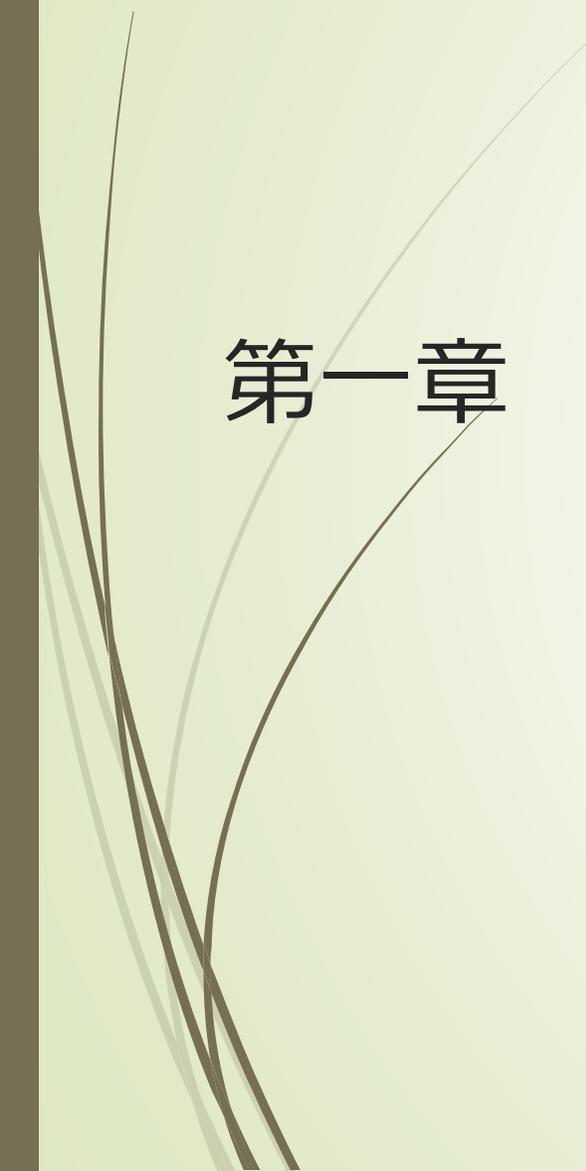
第一章 第一次世界大戦の勃発と日本の山東半島  
占領

第二章 中国の民族運動と対華二十一か条要求

第三章 パリ講和会議と山東省の帰属

第四章 五四運動とワシントン条約

おわりに



# 第一章 第一次世界大戦の勃発と日本の山東占領

# 1、事件発生

A、1914年6月28日オーストリア=ハンガリー  
帝国皇太子暗殺→サラエボ事件

B、7月28日、セルビアに宣戦布告

→同盟、協約締結国各国が連鎖的に開戦

→3600万人に被害

## 2、時系列

A、7月31日、ロシア帝国セルビア支援のため、総動員

B、8月1日、ドイツ帝国、ロシア警戒で総動員

C、2日、ドイツ、シュリーフェン・プランでルクセン

ブルク侵攻

D、3日11時、ベルギー侵攻

E、3日、17時、フランスに宣戦布告

F、イギリス、ドイツのベルギー侵攻に反対

→3日23時に開戦

■	同盟国側
■	連合国側
□	中立国



連合王国 (イギリス)

ドイツ帝国

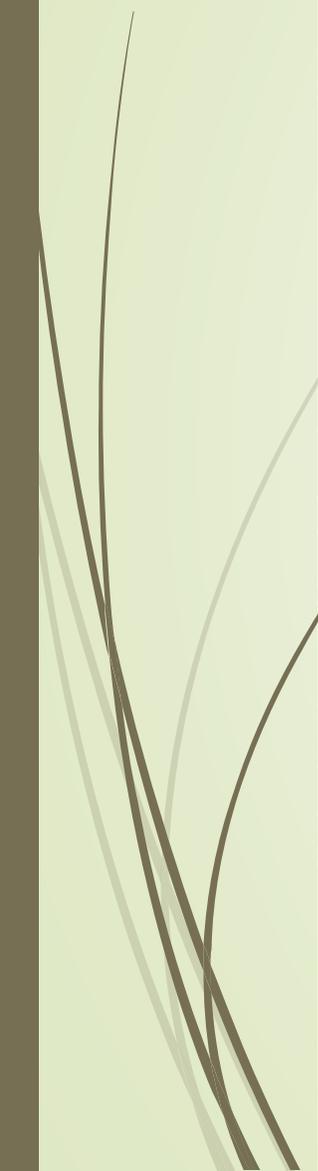
オーストリア=ハンガリー二重君主国

フランス

イタリア

ロシア帝国

オスマン帝国





### 3、ロシアの各国との関係と開戦理由

A、パン・スラヴ主義

B、バルカン半島での影響力の低下

C、対立構造

D、露仏同盟

## 4、ドイツ開戦の理由

A、大国ロシアの総動員

B、三国同盟

## 5、大戦の趨勢

A、シュリーフェンプランの失敗

I、進撃の遅滞

II、予想外の抵抗

III、ロシア軍の動員完了

IV、兵力優位の崩壊

→短期決戦の崩壊、塹壕戦、消耗戦の転換

## 6、列強からの中国租借

- A、1840年、56年の対外戦争で清が不平等条約  
→各港、都市が租借地に
- B、95年日清戦争で日本が山東半島租借  
→三国干渉で断念、臥薪嘗胆
- C、98年独が青島、膠州湾を租借
- D、1905年日露から満州鉄道の利権を継承

## 7、日本の第一次世界大戦の参戦

A、英国から膠州湾の占領を要望

B、大陸利権拡大

I、陸軍、中国強硬派の大陸利権拡大

C、満州利権の延長

I、加藤外相、満州利権の延長

→対独参戦、8月23日



## 8、日本の対独開戦と占領

### A、膠州湾周辺、要塞化

→戦略の転換、砲撃で砲兵陣地破壊、

→1月7日、膠州湾守備隊降伏





## 第二章 中国の民族運動と対華二十一か条要求



# 1、中国、民族運動の勃発

A、19世紀末、列強からの利権回収運動  
→のちの民族運動へ

# 2、対華二十一か条要求の提出

A、1915年1月15日提出

B、5月7日、中国袁世凱政権が認証



### 3、対華二十一か条の目的

A、外相加藤、期限間近の満州利権延長

→遼東半島1923年、南満鉄1939年

B、陸軍、対中強硬派、大陸の進出が目的

→陸軍、開戦時から大陸進出を検討

## 4、対華二十一か条の内容

A、

I、山東省内のドイツ権益継承

II、日本の満州権益の延長

III、漢冶萍公司の日中共同経営

IV、中国沿岸部の外国への不割譲

V、中国政府内での日本人顧問採用、日中警察の一

部合同



## 第三章 パリ講和会議と山東省の帰属

# 1、パリ講和会議開催

A、1919年1月18日、パリで第一次世界大戦の講和会議が開幕

→戦後の秩序を決定、各国諸問題を解決

## B、列強の参加者

I、米、ウッドロー・ウィルソン大統領

II、英、ロイド・ジョージ首相

III、仏、ジョルジュ・クレマンソー外相

IV、伊、ヴィットリオ・オルランド首相

V、西園寺公望元首相

## 2、山東半島の返還交渉

A、4月山東案件の会議開始

B、アメリカ、日本の行動に強硬に反対

I、シベリア出兵の過度な介入

II、中国利権の独占阻止

III、親中派の閣僚の支援

→アメリカ、山東半島の独占断固拒否

→山東半島の国際管理案提出

→日本拒否

### 3、日本の反論

#### A、中国との4つの交換公文

I、日本の自由処分

II、円借款の融資

III、英仏の承認

IV、1918年の承認

→しかし、アメリカ、山東半島の独占断固拒否

#### 4、イタリアの会議離脱

A、米、ロンドン密約の内容を未承認

→伊、会議離脱、帰国

B、ウィルソンの方針転換

I、国際連盟の設立第一

II、伊の離脱で衝撃

→列強の離脱、屋台骨不安定

→日中の妥協へ、のちの国際会議へ保留



## 第四章 五四運動とワシントン会議

# 1、五四運動の発生

A、1919年5月4日山東半島の非返還、中国人民が反対

B、北京で学生が調印反対のデモ活動主催

I、山東半島を直接返還

II、日本の中国侵略反対

→五四運動の展開

→政府、未阻止、中国全土に拡大

III、対日ボイコット、打ち壊し多発

→その後沈静化、しかし継続



## 2、1921年ワシントン会議の開催

### A、目標

I、軍縮

II、日本勢力の太平洋への拡大阻止

III、中国市場の門戸開放

IV、山東懸案の解消

## B、山東懸案の解消

### I、日本、国際協調路線へ方針転換

→問題解決に尽力

### II、戦後不況で各国と経済連携模索

→原内閣、山東返還で合意模索

## 3、1921年11月30日会議開始

### A、1922年2月4日、山東懸案解決に関する条約締結

→山東半島経済利権の中国への返還



おわりに

1、山東占領は大陸進出論か

A、円借款の融資、陸軍強硬派の誘導

→山東占領、大陸進出の橋頭保

B、あくまで満州利権延長と引換

→加藤は外務省単独で作成

結論：山東利権の返還、満州利権の延長